

科目名	心理カウンセリング							年度	2026
英語科目名	Psychological counseling							学期	後期
学科・学年	医療事務科 2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	照井裕子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		公認心理師		
<b>【科目の目的】</b> 人間は社会的な動物であり、人と関わりながら成長や発達を遂げていく。その過程において、人間の心に関する理解を深めることは、互いに円満によりよく生きることに繋がる。また医療事務員として、患者に寄り添った対応を行ったり多職種と良好な関係を築くためにも、心理学の知識は有効である。本科目では、人間の心に関する基本的な働きや心の発達過程を知り、自己理解・他者理解に活かす土台作りとすることを目的とする。									
<b>【科目の概要】</b> 心理学の分野は基礎心理学と応用心理学とに大別される。本科目では、それぞれの分野の中から我々の生活に身近な領域（知覚、感情、学習、性格、心の発達、組織・対人など）を中心に取り上げて概説する。また後半には、心の健康を保ちながら社会人として働き続けるために必要な知識として、ストレスコーピングや青年期特有の心の病、アサーティブコミュニケーションについても解説する。									
<b>【到達目標】</b> A. 授業内容を自分なりに理解しようとする主体性や態度を表明することが出来る B. 心やその働きについて自分自身と関連付けて考え、文章で表現することができる									
<b>【授業の注意点】</b> 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	抱いた興味や疑問点を持ち、自分の考えを深めている		授業内容の重要なポイントは書かれている		要点を押さえられていない				
到達目標 B (記述内容)	多角的な視点をもって説得力のある文章表現ができる	論理立てて文章表現することができる	課題に沿ったテーマ選択ができ、考えを文章で表現できるが、論理に曖昧さがある	課題に沿ってテーマ選択ができるが、文章表現では考えが伝わらない	適切なテーマ選択ができず、内容もずれている				
到達目標 B (書式)		書式の規定を満たしている		一部の点で書式の規定を満たしていない	多くの点で書式の規定を満たしていない				
到達目標									
到達目標									
<b>【教科書】</b> なし									
<b>【参考資料】</b> 毎回プリントを配布する									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 毎回の授業でのミニッツペーパー（75%）、課題レポート（25%）									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		心理カウンセリング			年度	2026
英語表記		Psychological counseling			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	心理学とは	心理学とはどのような学問か	1 心理学とは	心理学は心の働きを科学的に研究する学問であることを知り、授業に臨む構えを作ることができる	3	
			2 心理学の目的			
			3 心理学の分野			
2	知覚と認知の心理	私たちはどのように外界を認識しているのか	1 外界を知る手がかり	外界の情報は五感を通して脳に伝えられることを知る	3	
			2 錯視図形	外の世界≠内の世界であることを知る		
3	感情と情緒の心理	感情は社会生活や人間関係にとって不可欠であることを再確認する	1 感情の種類と獲得	感情には色々な種類があり、成長とともに獲得されるものであることを知る	3	
			2 生理的・行動的变化	感情によりどのような変化が起きるのかを知る		
			3 記憶と感情との関係	記憶と感情には密接な関係があることを知る		
4	欲求と動機の心理	欲求と行動はどのような関係にあるのか	1 欲求とは	欲求には沢山の種類があることを知る	3	
			2 欲求不満と葛藤状態	それぞれどのような状態なのかを知る		
			3 マズローの欲求段階	自己実現に向けた欲求の捉え方ができる		
5	学習と記憶の心理	学習、記憶をそれぞれ心理学的に捉える	1 学習とは	心理学における、学習の定義を知る	3	
			2 記憶のプロセス	記憶の脳内処理について知る		
			3 効果的な学習法	記憶の特性に応じた効果的な学習方法を知る		
6	性格の心理	性格の捉え方や検査法について学ぶ	1 性格の捉え方	性格傾向をどのように捉えるのかを知る	3	
			2 性格検査法	性格をどのような方法で捉えるのかを知る		
			3 エゴグラム	自分の性格特性や行動パターンを知る		
7	無意識と深層の心理	深層心理とはどのようなものかについて学ぶ	1 深層心理とは	エス、自我、超自我の3領域を知る	3	
			2 自我防衛機制とは	そのメカニズムや種類について知る		
			3 夢分析	深層心理と夢との関係について知る		
8	発達と成長の心理	心の発達段階について学ぶ	1 発達とは	心理学における発達の定義について知る	3	
			2 ライフサイクル理論	エリクソンのライフサイクル理論について知る		
			3 青年期	青年期における危機や自我同一性の確立について知る		
9	自己と対人の心理	対人心理学について学ぶ	1 自己意識	2つの自己意識について知る	3	
			2 自己評価	自己評価のタイプについて知る		
			3 第一印象と対人魅力	好意を感じる対人的要因について知る		
10	社会と組織の心理	人は社会の中でどのような心理をもちどのように行動するかを学ぶ	1 援助行動	援助行動の心理について実例から知る	3	
			2 支配と服従	支配と服従の関係について知る		
			3 攻撃的行動と同調圧力	それぞれがおこる心理メカニズムについて知る		
11	ストレスと心の健康	ストレスによる心身への影響とストレス対処について学ぶ	1 ストレスとストレッサー	それぞれの定義を知る	3	
			2 ストレス反応	ストレスが心身に及ぼす影響について知る		
			3 ストレスコーピング	ストレス対処の分類と方法について知る		
12	心の病	青年期にはどのような心の病が起こりやすいのか	1 青年期の課題（復習）	発達段階（青年期）の復習ができる	3	
			2 心の病	さまざまな心の病について知る		
			3 メンタルケア	自分でできるメンタルケアについて知る		
13	アサーティブコミュニケーション	アサーティブな自己主張について学ぶ	1 アサーティブコミュニケーションとは	定義と3つのタイプの自己表現について知る	3	
			2 自分のタイプを知る	それぞれどのような自己表現のタイプなのかを知る		
			3 アサーティブ力を高めるために	アサーティブ力を高めるためのいくつかの方法を实践できる		
14	さまざまな悩みへの対処法	さまざまな悩みへの対処法について学ぶ	1 挫折体験	挫折体験から立ち直るヒントを得る	3	
			2 自己肯定感	自己肯定感を高めるための方法を知る		
			3 人見知り	人見知り気質とどう向き合うかについてのヒントを得る		
15	カウンセリング	カウンセリングの概要について学ぶ	1 カウンセリング	カウンセリングを受ける流れについて知る	3	
			2 レジリエンス	レジリエンスを高める方法を知る		
			3 まとめ	15回の振り返りができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等